

## 中華民国台中市大安区との友好交流協定締結のための訪台について（報告）

水俣市議会台湾友好促進議員連盟会長 岩村 龍男  
（会派名：ネクストすまいる）

### 1 出張者

（執行部）

水俣市長 高岡 利治  
随員 丸山 健一（スポーツ推進課長）  
赤石 護（市長公室）  
宮本 裕美（経済観光戦略課）

（水俣市議会）

水俣市議会台湾友好促進議員連盟 会長 岩村 龍男（ネクストすまいる）  
事務局長 小路 貴紀（真志会）

### 2 日時・視察先等

日時	視察先	視察内容
10/25（土）	移動日（JR等及び航空機）	※福岡空港で執行部と合流
10/26（日）	2025年花蓮太平洋国際ドラゴンボートフェスティバル会場	台湾側事務局表敬訪問、水俣市チーム激励、試合観戦等
10/27（月）	台中市大安区との友好交流協定締結式・大安区内視察	締結式出席（議連代表挨拶）、区内施設見学
10/28（火）	JCAMアグリ スポーツギア株式会社	JCAMアグリ表敬訪問 スポーツギア(株) 社長 陳維家氏と面会

### 3 視察の概要及び所感

視察の1日目（10/26）は、7月に本市で開催した市民競り舟大会で勝利した水俣市4区、漕美ちゃんチームからなる水俣市代表チームが参加する「2025年花蓮太平洋国際ドラゴンボートフェスティバル」の選手応援及び台湾側主催者への表敬を行った。7月に本市大会に参加した花蓮県チームの選手の皆様ともお会いし、笑顔で迎えていただいた。

2日目（10/27）は、市がこれまで令和6年度から福岡の辨事処を通じて交流を打診してきた結果、友好交流協定を締結することとなった台中市大安区を訪問、区職員の皆さんから熱烈的な歓迎を受けた後、「友好交流協定」を、許宏綺区長と高岡市長との間で署名が交わされ、協定が成立した。両首長からの挨拶の後、私たち議員連盟からも挨拶の機会があり、今後の相互の発展と交流を心から願い、感謝を申し上げた。また、本市スポーツ、経済観光の担当課から、本市の取組状況、今後の交流に期待する

点などを詳しく説明し、PRに努めた。

3日目(10/28)は、本市JNCの関連会社JCAMアグリ及び台湾企業スポーツギア株式会社を表敬訪問した。

今回の協定により、今後ますます観光・スポーツ・経済・産業・文化・教育をはじめとする多くの分野で、両者が交流・発展につながるよう、議連としても、力を尽くしていきたい。

なお、今回の訪台後、早くも翌月11/4に台中市訪問団が本市を訪問され、相手方の本市との交流に対する期待の大きさと熱い思いを感じたところである。

※なお、参考資料として、執行部作成の今回の事業の概要資料を添付する。

# 1 連携・交流に係る協定に向けた経緯

## 【令和6年度】 ※観光戦略課において調整

- ✓ 台中市政府を水俣市長が訪問。観光やスポーツを核とした自治体間相互交流を打診。
- ✓ 弁事処経由で2つの行政区の交流について提案があったが、可能であれば台中市政府との交流を望むことを伝え調整を開始。
- ✓ 弁事処と台中市政府秘書局国際事務課がやり取りをする中で、「自治体の規模を考慮すると行政区との交流が望ましい」旨連絡あり。
- ✓ 台中市秘書局から弁事処宛に水俣市との交流推進に関する書簡が送付され、台中市の大安区との交流協定の締結について提案があった。

## 【令和7年度】 ※市長公室において調整

- ✓ 大安区について調査。大安区職員とウェブ面談やチャットによる情報/意見交換開始。
- ✓ 今般、以下の通り連携可能性を双方で見出した。

### [大安区側の考え]

#### ・交流の要となる大安区の最大の観光資源は美しい海

台中市政府直轄の海洋観光パークがあり、当局主催の海洋の観光フェスも開催される。サップやグライダー等のスポーツの大会も行われており、「海」が交流のキーワードとなる。

#### ・双方の観光資源等を生かしながら交流を生み出したい

相互の住民が、「日本旅行の際には水俣」に、「台湾旅行の際には大安区」に、という機運の中で経済の発展に結びつくように連携を発展させて行きたい。

#### ・観光面以外でも交流を生み出し、住民の活気を生み出したい

高齢化が進む中で、高齢者向けの健康教室等の共同開催など期待したい。  
小中学生の異文化交流等も期待したい。

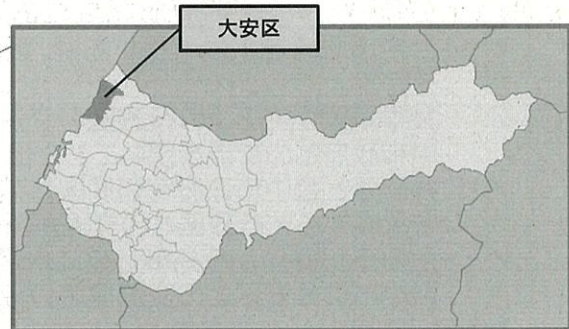
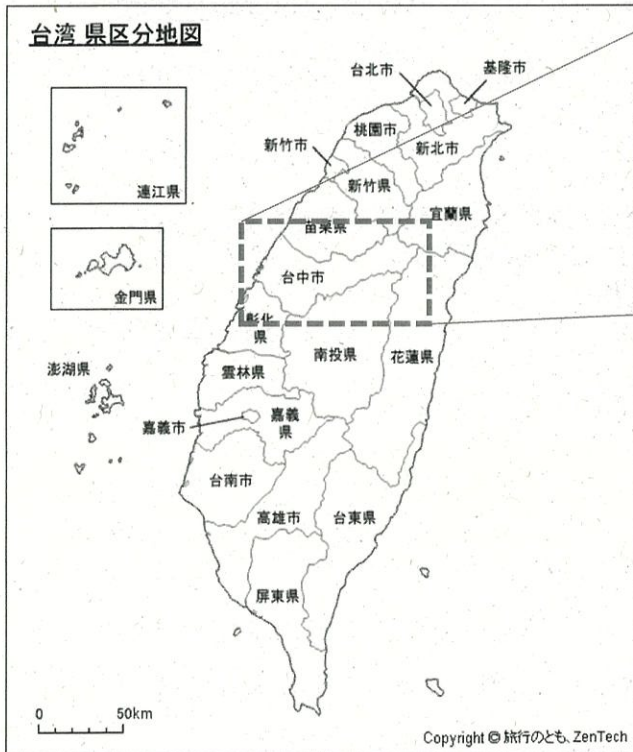
○水俣・大安共に「海」をブランドとして捉え、観光資源として活用しており、地域への誘客(外国人客)により経済の発展に結び付けたいという考えを持っている。

○台中市政府も海洋観光で大きく関与していることから台中市との連携も期待できる。

### 「海」で繋がる日台交流

## 2 台中市大安区概要

大安区 (だいあんく:ダーアンく)



	大安区	水俣市
面積	27.40 km <sup>2</sup>	163.29 km <sup>2</sup>
人口	約16,000 人	約 22,000 人
(世帯数)	約5,000 世帯	約 10,000 世帯
教育機関	小学校 4校 / 中学校 1校	

- ・台中市行政区(29行政区)の一つ。
- ・台中市の北西部に位置し、西側は台湾海峡に面している。
- ・砂浜は、台中市のみならず台湾西岸中部で唯一のロングビーチであり、毎年台中市政府主催の海洋イベントの会場になっている。
- ・平坦地が多く、開けた地形が特徴で、沿岸部には湿地や砂丘が広がる。山林は存在しない。

### 台中市大安区の産業

【農林水産業(※山林がないため林業の操業なし)】

農業と水産業が複合的に発展しており、地域の住民はこれらの産業を基盤にして生計を立てている。平坦な土地と沿岸部という地理的特性を活かし、農業(稲作、花卉)、畜産業(養豚・鶏飼育)が発展している。地元消費を支えつつ、台湾全土に出荷されるものもあり、地域経済を支える重要な柱となっている。

【商業】

地元住民向けの小規模な店舗や市場が見られ、特産品や生活必需品の販売が主流となっている。

【工業】

隣接する区に製造業や中小企業が集まり、大安区から働きに出るものも多い。地域の土地利用や経済活動は農業・漁業に集中しており、その産業を補完する農業や漁業関連の加工業などの産業が中心となる。

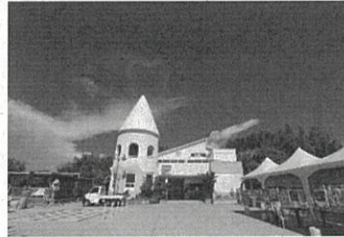
## 重要拠点 (観光・スポーツ)



海浜自転車道



ビーチ



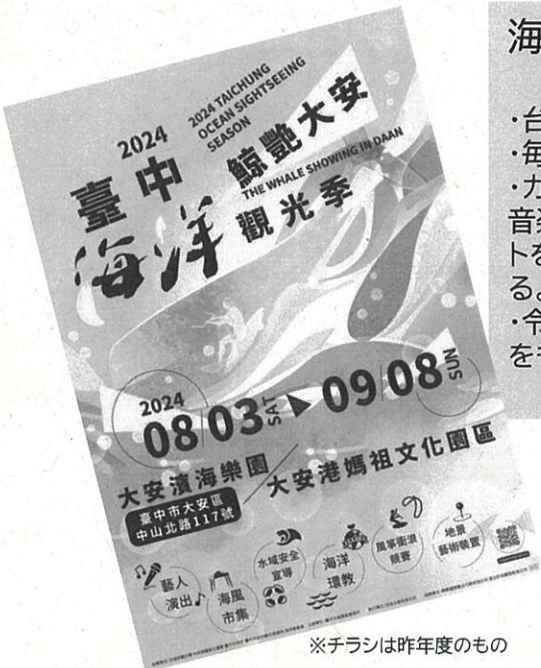
物産施設



キャンプ施設

## 大安濱海樂園(ビーチパーク)

- 台湾中部で最も広い海岸線を持つエリア。
- 台湾全土の観光客 人気10大ビーチのひとつ。
- 美しい海岸線と豊かな自然が広がる場所で、台湾中部の有名な「夕日鑑賞スポット」となっており多くの観光客が訪れる。
- 物産施設、屋外プール、イベントスペース、キャンプ施設が併設する。
- ウィンドサーフィンやSUPなどのマリナクティビティが可能な区域であり、愛好者が集う。ビーチバレーの大会も開催されるなど、スポーツやレジャー、観光を複合的に提供するスポットになっている。
- 台中市により開催される海洋イベント「台中海洋観光季」の会場にもなっている。
- 近隣にはいくつかの牡蠣養殖場があり、新鮮な牡蠣を味わうことができ、漁港では地元の海産物市場も開かれる。



※チラシは昨年度のもの

## 海洋イベント「台中海洋観光季」

- ・台中市政府主催の海洋イベント
- ・毎年1か月以上の期間の中で、大安で開催。
- ・カイトサーフィン大会、バレーボール大会、野外音楽フェス、芸術イベントなど、海に関するイベントを次々に開催し、交流人口の拡大を図っている。
- ・令和7年は10月10日にカイトサーフィン大会をもって期間が終了となる。



スポーツカイト



カイトサーフィン

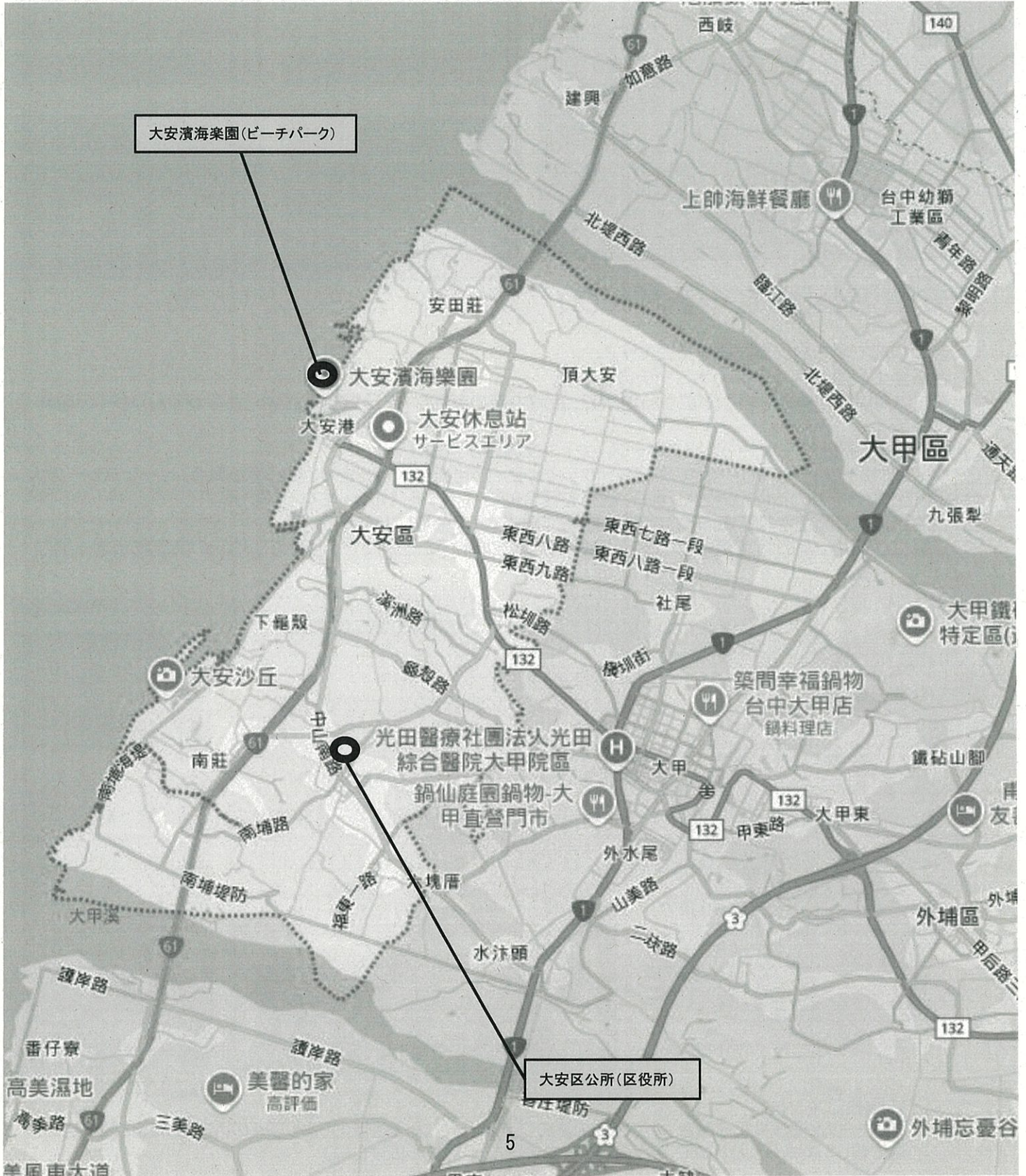


流木アート

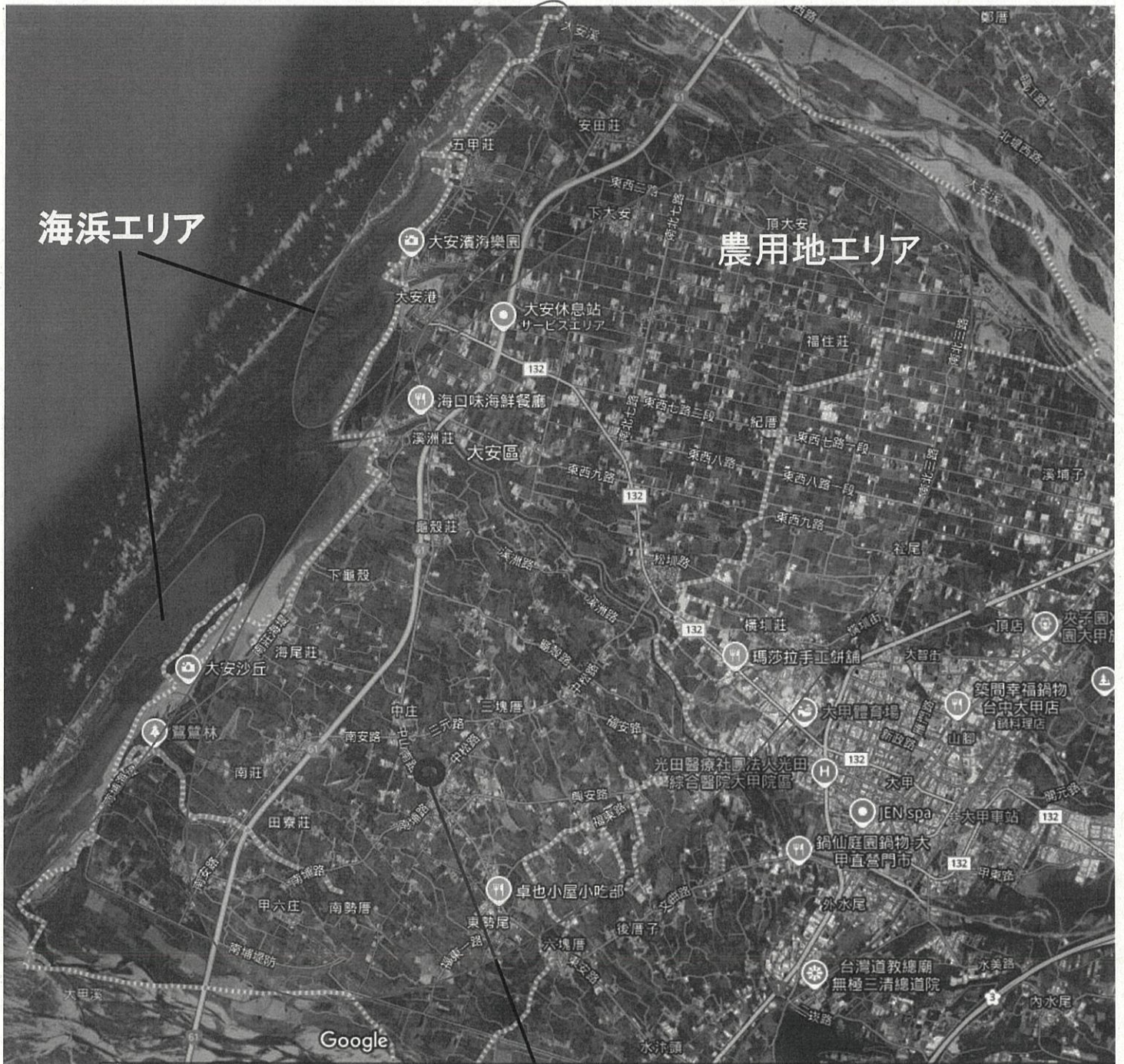
### 許区長コメント

「スポーツと海洋文化を融合させ、大安の夏のブランドイベントを創出し、より多くの人々を大安に呼び込み、海に親しんでもらうとともに、若者にスポーツ参加の可能性を広げたい」

# 大安区拡大図

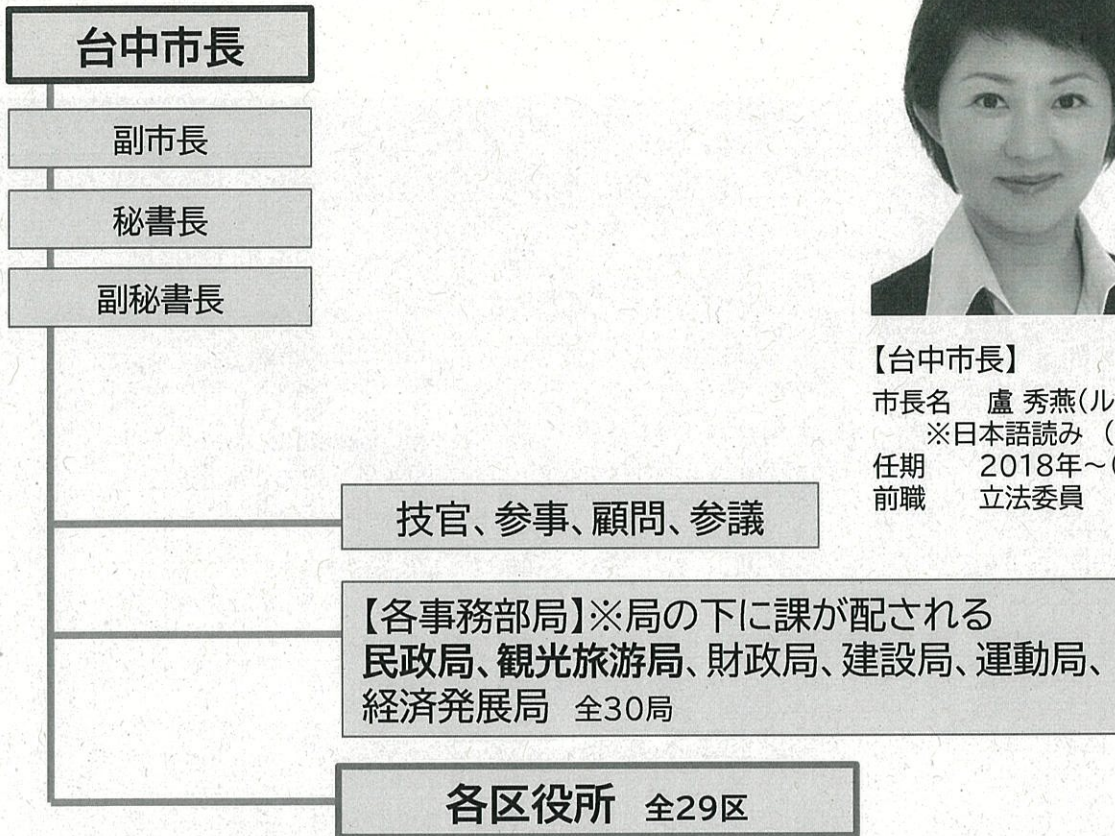


# 大安区拡大図(航空写真)



大安区公所(区役所)

■台中市行政機構図

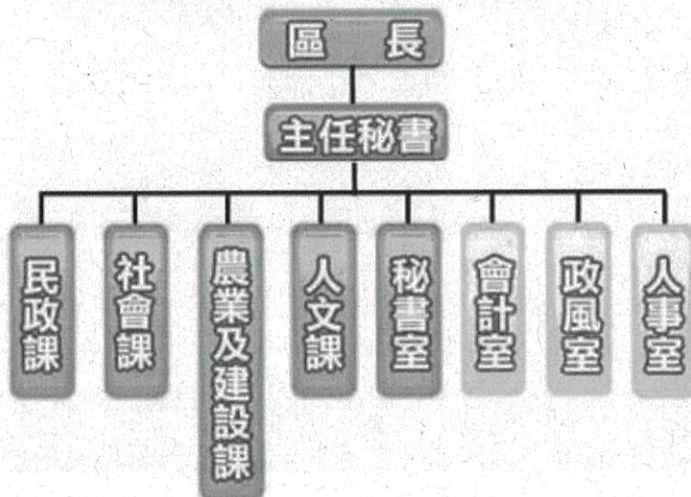


【台中市長】

市長名 盧 秀燕(ルウ・ショウイエン)  
 ※日本語読み (ろ・しゅうえん)  
 任期 2018年～(2期)  
 前職 立法委員



大安區公所行政組織圖



【大安區長】

區長名 許宏綺(シュ・ホンチ)  
 ※日本語読み (きよ・こうき)  
 任期 2020年～  
 前職 大安區主任秘書

- ・政治家とされる者は、選挙で選ばれた市長のみ。
- ・「区長」は台中市職員の中で、特に市長の信頼の厚い29名が選出される。
- ・「区長」は市長の意向により、台中市本庁に戻り幹部職員として配される。



日本国熊本県水俣市と中華民国台中市大安区との  
友好交流協定書

日本国熊本県水俣市と中華民国台中市大安区（以下、「両者」という。）は、  
両者の友好関係を深め、地域振興や人材育成に向け、国際交流の促進に協力  
して取り組むため、友好交流協定を締結する。

- 一、両者は、平等互恵の原則に従い友好な関係を築き、両者の繁栄、発展  
について協力することとする。
- 二、両者は、観光、スポーツ、経済、産業、文化、教育など各分野での交  
流を促進する。
- 三、両者は、行政、住民、民間団体等の様々な主体による交流を促進する。
- 四、友好交流に関する具体的な取組みについては協議する。
- 五、本協定書は水俣市長及び大安区長の署名の口をもって効力を有するも  
のとし、日本語と中国語により各二部作成し、双方が1部ずつ保管す  
るものとする。

日本国

中華民国

熊本県水俣市長

台中市大安区長

高岡利治

許宏詩

2025年10月27日

■協定締結式の様子



・庁舎前歓迎



・挨拶する許大安区長



・挨拶する高岡市長



・調印する市長、区長



・協定成立



・水俣の「手打ち包丁」贈呈



・大安の「流木彫刻」贈呈



・挨拶する岩村議長



・挨拶する小路議員



・水俣市のスポーツに関する説明



・水俣市の観光に関する説明



・ぶら下がり取材



・ぶら下がり取材(同行熊日記者)